



取扱説明書

製品名称

液体用高精度フィルタ

型式 / シリーズ / 品番

FGH シリーズ

SMC株式会社

目次

安全上のご注意	2
1. 各部の名称と機能	5
2. 製品仕様	6
3. 型式表示方法	6
4. 外観寸法図	7
5. 設置配管	8
6. 保守点検	8
7. メンテナンス品	9



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格（ISO/IEC）、日本産業規格（JIS）※1）およびその他の安全法規※2）に加えて、必ず守ってください。

- ※1) ISO 4414: Pneumatic fluid power -- General rules and safety requirements for system and their components
ISO 4413: Hydraulic fluid power -- General rules and safety requirements for system and their components
IEC 60204-1: Safety of machinery -- Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)
ISO 10218-1: Robots and robotic devices - Safety requirements for industrial robots - Part 1: Robots
JIS B 8370: 空気圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項
JIS B 8361: 油圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項
JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置(第1部: 一般要求事項)
JIS B 8433-1: ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットのための安全要求事項-第1部: ロボット

※2) 労働安全衛生法 など



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

警告

- ① **当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。**
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② **当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。**
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ **安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。**
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ **当社製品は、製品固有の仕様外での使用はできません。次に示すような条件や環境で使用するには開発・設計・製造されておりませんので、適用外とさせていただきます。**
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、生命および人体や財産に影響を及ぼす機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログ、取扱説明書などの標準仕様に合わない用途の使用。
 3. インターロック回路に使用する場合。ただし、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式による使用を除く。また定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。製造業以外でのご使用については、適用外となります。

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

新計量法により、日本国内でSI単位以外を使用することはできません。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{※3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③その他製品個別の保証および免責事項も参照、ご理解の上、ご使用ください。

※3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。



FGH Series 個別注意事項

ご使用の前に必ずお読みください。

ここに示した注意事項は、FGH シリーズを安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する内容ですから、必ず守ってください。

■取扱者について

本書に掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。

⚠ 警告

■仕様範囲を超えて使用しないこと。

- 使用圧力: ウォーターハンマ、サージ圧等の圧力変動も含む仕様範囲以上の圧力が考えられる場合は、アキュムレータの設置等の必要な対策を実施してください。気体で使用する場合は、最高使用圧力: 0.5MPa となります。
- 使用温度: 仕様温度範囲内であっても、仕様流体(液体)の沸点以上では使用できません。
- 使用流体: 人体に影響のある流体は使用できません。
ガスケット、パッキン及びエレメントに対して膨潤や劣化を引き起こす流体は使用しないでください。
- 使用環境: 屋外では使用できません。振動や衝撃がかかる場所では使用しないでください。
腐食の恐れのある雰囲気では使用しないでください。

■引火性の流体および浸透性の高い流体には使用しないこと。

- 火災や爆発・漏れの恐れがあります。

■加圧状態では絶対に分解しないこと。

- 加圧状態では絶対に締結部分(ボルトなど)を緩めないでください。
ライン圧力がゲージ圧で“ゼロ”になったことを確認してから行ってください。けがをする恐れがあります。

■部品の改造をしないこと。

- 部品破損により、けが、故障の恐れがあります。

⚠ 注意

■高温流体使用時にフィルタ本体や配管に触らないこと。

- 高温(40~80°C)でご使用の場合は、やけどの恐れがあります。
- 表面温度が 40°C 以下に冷えたことを確認してから触ってください。

■IN/OUT を逆接続しないこと。(逆流しないこと)

- 逆圧・逆流が発生しないようにしてください。逆圧・逆流によってエレメントが破損する恐れがあります。

■保守点検完了後の加圧時には、漏れ検査とエア抜きを実施すること。

- 漏れがあるなどの異常の場合は運転を停止してください。
液漏れ箇所への適切な処置(新しいガスケットへの交換及び管継手の増し締め等)を行った後に操作を再開してください。
- エア抜き作業を必ず行ってください。

■エレメントの交換時期は差圧管理のこと。

- 差圧が 0.1MPa に到達する前にエレメントを交換してください。エレメントを交換しないと、エレメント破損の原因になります。

■エレメント交換作業時には、必要な保護具類を着用のこと。

- 交換作業時は、必要な保護手袋、保護メガネ等を着用してください。使用流体や捕捉異物により、けがをする場合があります。

■配管は、振動や重量によってフィルタに負荷が掛からないこと。

- IN/OUT 配管部を U ボルト等で架台に固定して下さい。フィルタが破損する場合があります。

■低温時の高粘度流体は、大きな差圧が発生し、エレメントが破損する恐れがありますので注意してください。

1.各部の名称と機能

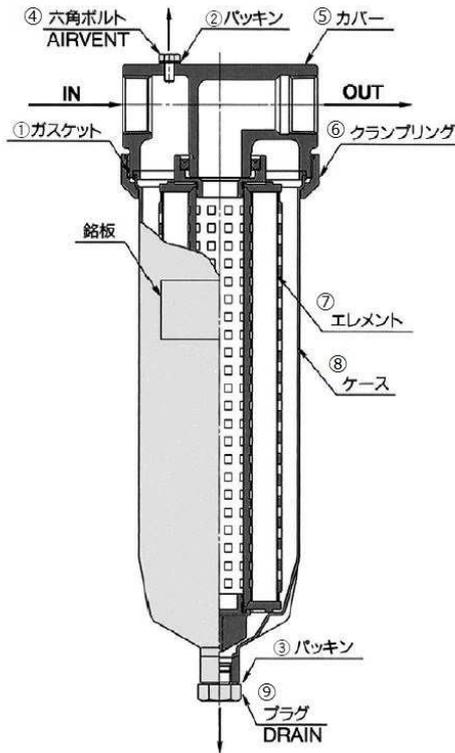


図 1.各部の名称

表 1-1.各部の名称と機能

番号	部品名称	材質	機能
(1)	ガスケット	PTFE	
(2)	パッキン	PTFE	
(3)	パッキン	PTFE	
(4)	六角ボルト	SUS316	ハウジング内のエア抜き用のプラグ
(5)	カバー	ステンレス鑄鋼	フィルタ本体の蓋
(6)	クランプリング	ステンレス鑄鋼	ケース・カバーの連結、カバーを締付けます
(7)	エレメント	選定エレメントによる	ろ過物を捕集します
(8)	ケース	SUS316	フィルタ本体
(9)	プラグ	SUS316	ドレン抜きプラグ

表 1-2.交換用部品

番号	名称	品番		
		FGH100	FGH200	FGH300
(1)	ガスケット	AL-58S#1		
(2)	パッキン	AL-43S		
(3)	パッキン	AL-53S		

※フィルタ 1 台につき各 1 ヶずつ使用します。

※クランプリングの取付け・取外しには、市販のベルトレンチなどをご使用ください。

2.製品仕様

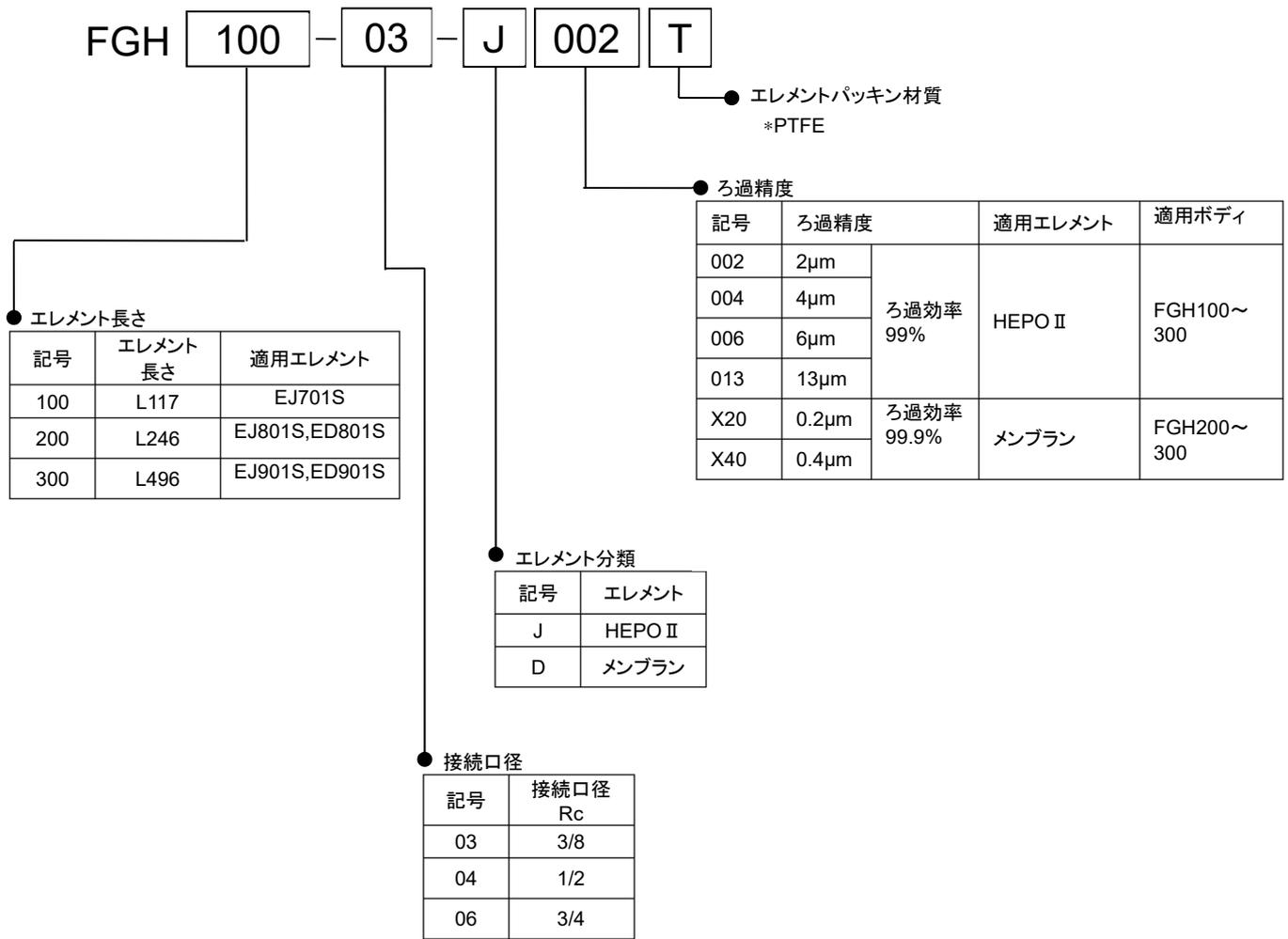
表 2.仕様

型式	FGH100	FGH200	FGH300
使用流体	各種液体(工業用水、洗浄液、一般溶剤など)		
接続口径(Rc)	3/8、1/2、3/4、1		
最高使用圧力(MPa)	1.0		
最高使用温度(°C)	80		
エレメント本数	1		
エレメントサイズ(mm) ^{注1)}	125	250	500
エレメント交換差圧(MPa)	0.1		
主要材質 ^{注2)}	カバー	SUS316	
	ケース	SUS316	
	ガスケット/Oリング	PTFE	
	パッキン類	PTFE	
質量(kg) ^{本体のみ}	2.6	3.2	4.3
内容積(L)	1.0	1.8	3.3

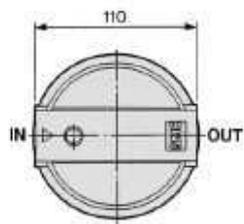
注 1) エレメントサイズの長さの寸法は、呼び長さです。

注 2) フッ素樹脂のパッキンは、経時変化によりシール性が低下する場合があります。定期的に増し締めしてください。

3.型式表示方法

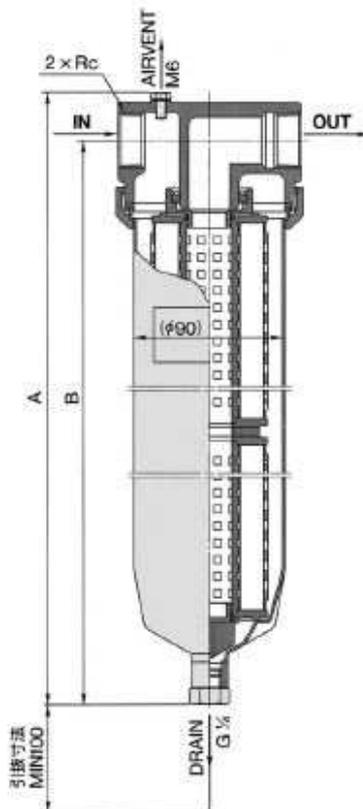
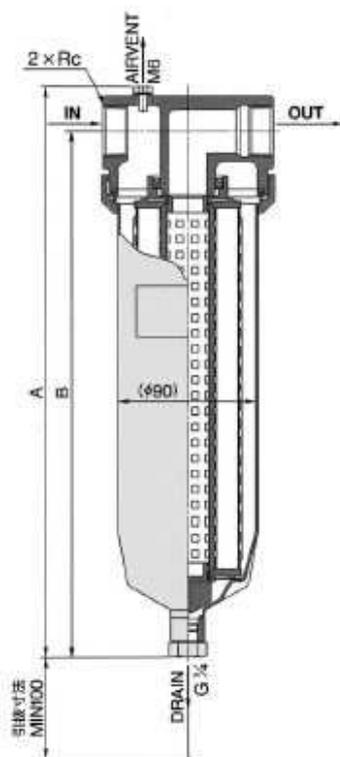


4.外観寸法図



FGH100・200

FGH300



寸法表

型式	エレメント長さ	接続口径Rc	A	B
FGH100	φ70×L117	3/8、1/2	235	211
		3/4、1	240	
FGH200	φ70×L246	3/8、1/2	364	340
		3/4、1	369	
FGH300	φ70×L496	3/8、1/2	615	591
		3/4、1	620	

5.設置・配管

【1】設置

- 1) 保守点検に必要なスペースを確保して設置・配管してください。
容器下方に「100mm」以上のスペースを確保してください。
- 2) エlement初期差圧は 0.02MPa 以下になる流量で使用開始してください。
0.02MPa を超える条件で開始すると、Element交換時期が極端に短くなる場合があります。
- 3) 本フィルタは初期発塵があります。初期使用時は、必ず十分なフラッシングを行い、発塵が無くなったことを確認した上でご使用ください。

【2】配管

- 1) 各接続ポートのサイズを確認し、使用条件に適合したバルブや管継手を使用して配管してください。
その他「安全上のご注意」を確認の上ご使用ください。
- 2) 配管はカバーを固定して行い、ケースには力が掛からないようにしてください。

6.保守点検

定期的に各シール部から漏れのないことを確認してください。

定期的に圧力、温度、サージ圧等を確認し、フィルタの使用可能範囲内であることを確認してください。

目詰まりによって、Element差圧が「0.1MPa」に到達する前に、Elementを交換してください。

※Elementは使い捨てタイプですので、洗浄はできません。

エレメント交換は、以下の手順で行ってください。

【1】エレメントの取出し(図 2.構造図 参照)

- 1) 運転を停止してください。
- 2) 保守作業の前に以下の点を必ず確認してください。
⚠ 本フィルタが設置されているシステム機器圧力計の圧力がゼロであることを確認してください。
⚠ 高温でご使用の場合は、やけど防止のため作業前にフィルタ容器の表面温度が 40°C 以下であることを確認してください。
- 3) フィルタ IN 側の配管バルブを閉じてから、フィルタ OUT 側の配管バルブを閉じてください。
- 4) エアVENTを緩め、フィルタ内の圧力を完全に抜いてください。
- 5) ドレンポートより内部の流体を排出してください。
- 6) クランプリングをベルトレンチ等の工具で緩めて、エレメントとケースを取り外してください。
(クランプリングはなくさないでください。)
- 7) 部品に汚れのある場合は洗浄してください。
ガスケット、パッキン類に劣化や膨潤等の異常がある場合は、新品と交換してください。

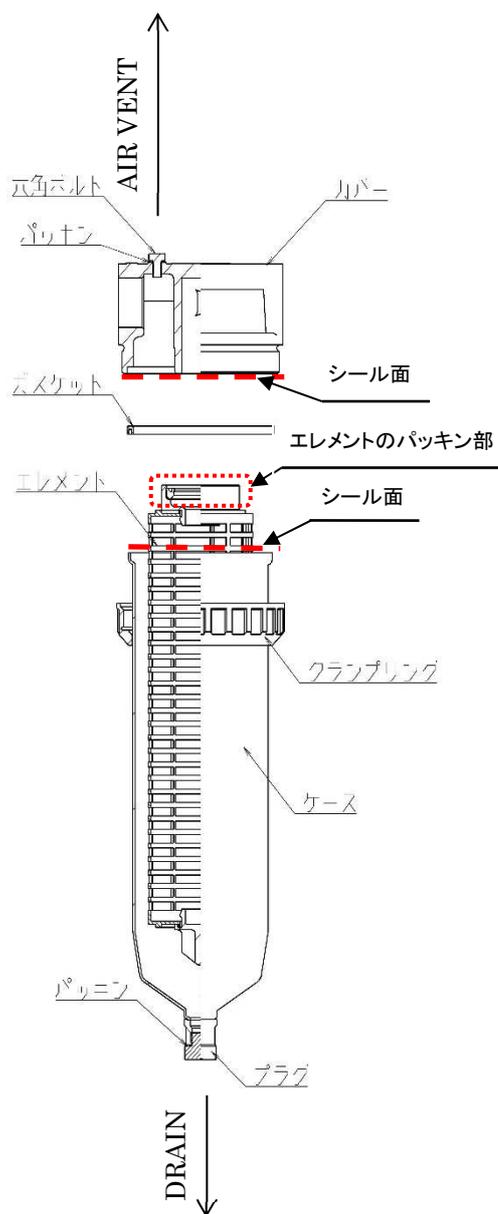


図 2.構造図

【2】エレメントの取付け(図 2.構造図 参照)

- 1) 6 項「保守点検」【1】の逆の手順で組付けを行ってください。
- 2) エレメントは次のようにセットしてください。
 - (1) ケース、カバーのシール面に傷がないことを確認してください。
 - (2) ケースに、ガスケットの溝部をはめ込みセットしてください。
 - (3) エレメントをケースにセットしてください。この時、エレメントがケースの中心に位置するようにセットしてください。
(メンテナンススペースが十分確保できる場合は、エレメントをカバーに取り付けてからケースを装着することも可能です。)
 - (4) クランプリングを図 2.のようにケースにセットしてください。
 - (5) エレメントのパッキン部をカバーのシート部に軽く合わせてください。
 - (6) クランプリングをカバーに手でねじ込んだ後、ベルトレンチ等の工具で締め付けてください。
 - (7) ドレン部のパッキンおよびプラグをセットし、エアVENTの六角ボルトを締め付けてください。

【3】運転の再開

- 1) エレメント交換後、各部の組付け状態を確認して運転を再開してください。液漏れ等の異常が発生した場合は、直ちに運転を停止して各部のシール状態を確認の上、適切な処置を行ってください。
- 2) ポンプ起動時の加圧時には、必ずエア抜き口(六角ボルト)を開けてエア抜きを行ってください。空気が抜けてからエア抜き口(六角ボルト)を閉じて、本運転に入ってください。

7.メンテナンス品

【1】交換用エレメント品番

フィルタ本体の銘板に印字されています。または、カタログでご確認ください。

【2】その他消耗品

その他消耗品(ガスケット・パッキン類)については、表 1-2 をご確認ください。

改訂履歴

初版：2001年10月

改訂：2021年4月

改訂：2024年3月

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日、祝日、会社休日を除く】

Ⓢ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© SMC Corporation All Rights Reserved